

第 13 期 報 告 書

2021年4月 1日から
2022年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

2021年度事業報告書

当会が一般財団法人として発足し13年が経過した。

不透明な感染症環境が続く中、2020年度に続き難しい対応に迫られた一年となった。

全国大会においては、2大会は予定どおりの実施は困難となり、下期の2大会に合わせ、延期開催とした。

立場に応じて様々な意見が寄せられたものの、2年連続の中止の回避を最優先とした判断は、概ね正しかったと考える。

財政面では、リモート環境の急速な普及により、経費を抑えながらも事業環境の回復を待つことが可能となった。さらに、大会事業の配信を意欲的に進める中で、当初の入場制限の代替案としての用途を超え、新たな可能性の発見にも繋がった。

尚、海外事業は2020年度に続きほぼ停止の状況が続いた。

2019年に初の世界大会進出が決まった後、2年以上の空白の期間が続いたことにより、新たな対応も必要となったものの、年度末に入りようやく環境の回復が見えたため、国際団体に対して次年度の計画の打診を続けながら、改めて準備を開始した。

1. 全国競技会

断続的な感染症の影響を受け、当初の計画を大幅に変更し4大会全てを11月以降に開催した。

①小学生：全日本ドッジボール選手権（夏）／小学生～社会人女性：全日本女子総合選手権

当初8月に開催を予定していた夏の全国大会は、自治体からの自粛要請に従い、11月に同じ会場で予定していた女子総合選手権の前日へと延期を決定した。事前の再調整を含め、地元茨城県協会を始めとした関東ブロック連絡会の柔軟な対応にも助けられながら2大会とも無事終了し、さらに大会中には感染症対応からの回復期も見据え下記の新たな試みも加えた。

- WEB上のライブ配信と連動した、館内配置モニターへの試合映像や広告映像の配信
- 予選リーグ終了後の集計時間を活用した、地元の交流・普及イベントの実施
 - 地元プロバスケットチーム所属チアダンスチームによる演技披露（夏全国大会）
 - 関東ブロック中学生チームによるミニ大会（イベント協賛（株）フクシン：女子選手権）

リハーサル環境の物理的な不足や担当業務の整理など、新たな課題も生じたものの、改めて多くの面から全国大会開催の価値を引き出す契機となった。


概要		
	第30回全日本ドッジボール選手権全国大会	第8回全日本女子総合選手権
日時	2021年11月27日(土)	2021年11月28日(日)
会場	アダストリアみとアリーナ 〒310-0034 茨城県水戸市緑町2丁目3-10	
助成団体	水戸市	水戸市、(公財)スポーツ安全協会
協賛	(公社)糖業協会、SENKEN(株)	
特別協力	ミスノ(株)	
協力	(株)ミカサ、(株)モルテン、(株)共同写真企画、(株)プロフォートサニー、(株)フィス、近畿日本ツーリスト(株)、(株)アンフィニプロジェクト、ヤマダイ(株)、イトウ製菓(株)、JA水戸	ミスノ(株)、(株)モルテン、(株)ミカサ、(株)共同写真企画、(株)プロフォートサニー、(株)フィス、近畿日本ツーリスト(株)、(株)アンフィニプロジェクト、(株)正栄デリシィ、ヤマダイ(株)、(有)煎餅屋仙七、JA水戸
参加チーム・人数	青森、岩手、秋田、福井の各県を除く43都道府県予選代表小学生男女45チーム(D1) 選手・指導者 960名 審判員・スタッフ等 250名	D-1G(女子小学生)の部 32チーム S-1G(中学生～社会人女子)の部 15チーム 選手・指導者 800名 審判員・スタッフ等 250名
成績	D-1 優勝 DOKKY'S(静岡県) 準優勝 パワフルジュニア(奈良県) 第3位 WAKABA-CLUB(東京都) 土竜島(神奈川県)	シニア女子の部(S-1G) 優勝 Mito GS Girls(関東ブロック・茨城県) 準優勝 HOLICK(東海ブロック・愛知県) 第3位 OVER DRIVE(関東ブロック・千葉県) ふりきゅあ?(関西ブロック・奈良県) D-1Gの部 優勝 ぷちの一てんき(愛知県) 準優勝 はかた☆あまっ娘(福岡県) 第3位 Kyoto Princess(京都府) 下原ニュースターズG(福岡県)





②中学生～社会人：J. D. B. A. 全日本選手権 / 小学生：全国小学生ドッジボール選手権（春）

J. D. B. A. 全日本選手権については感染症の影響により開催環境が整わず、当初計画であった長野県での9月開催を断念した。新たな調整の結果、すでに会場予約済みの春の小学生全国大会（広島県広島市）の前日への延期と決定した。

概要		
	2021J. D. B. A. 全日本選手権	第31回春の全国小学生ドッジボール選手権全国大会
日時	2022年3月26日(日) 9:00～17:00 (25日設営)	2022年3月27日(日) (3月26日大会終了後、シニア選手も含め設営)
会場	初開催：広島グリーンアリーナ（広島県立総合体育館） 〒730-0011 広島市中区基町4-1	
助成団体	広島市	 スポーツ振興基金助成事業 <small>独立行政法人日本スポーツ振興センター</small>
特別協力	ミズノ(株)	
協力	(株)ミカサ、(株)モルテン、(株)共同写真企画、(株)プロフォートサニー、近畿日本ツーリスト(株)、(株)フィス、(株)アンフィニプロジェクト、ヤマダイ(株)、広島県観光連盟	
参加チーム人数	東北から九州までの8ブロック代表28チーム (中学生以上男女混合) 選手・指導者 436名 審判員・スタッフ 100名	全国41都道府県より43チーム 選手/小学生3～6年男子・女子 907名 審判/スタッフ 200名
成績	ファイターの部 (S-1) 優勝 Vegaes0 ³ (関東ブロック代表) 準優勝 FALCONPAPAS (関西ブロック代表) 第3位 フロイデ (関東ブロック代表) Red愛 (東海ブロック代表)	青森・秋田・岩手・山形・山梨・石川を除く41都道府県43チーム (D-1) 優勝 Red Victory (愛知県代表) 準優勝 DOKKY'S (静岡県代表) 第3位 八万ファイヤーインパクト (徳島県代表) 飯倉シャイニングキッズ (福岡県代表)

同会場では2年前に初開催を計画するも、感染症拡大時期となり中止となった経緯も持っている。地元の広島県協会及び中国ブロックスタッフに対しては、再度想定外の負担を強いる形となってしまう、特に設営は深夜に及んだが、広島県協会役員を中心に、粘り強い開催意志に支えられた大会となった。

また、11月の全国大会に続き、新たに下記の試みも実施した。

- 有線LAN環境での大会映像のライブ配信
- 地元で活動するダウン症の小学生～高校生グループによる演奏披露



2. 競技委員会

主催大会では競技運営を円滑に行うと共に、ルールの徹底、審判員の資質向上のため諸施策を実行した。常任委員会では審判員育成課題等、競技全般に関する情報交換、研究、検討を行い、全国大会時における審判クリニックでは各地域から派遣される審判員を通じ全国への周知を図った。

- A級公認審判員認定講習会

年間を通じて実施（レポート・実技）	受験者 3名	合格者 3名
-------------------	--------	--------

- B級公認審判員認定講習会

開催ブロック	開催日	開催場所	受験者	合格者
関東	2021/11/14	さいたま市立徳力小学校（埼玉県）	12	4
北信越	2021/12/5	東御中央公園第1体育館（長野県）	11	1
東海	2021/10/10	弥富市立日の出小学校（愛知県）	7	3
関西	2022/3/6	綾部市豊里コミュニティーセンター（京都府）	2	0
中国	2021/10/3	広島県廿日市市立平良小学校（広島県）	6	4
四国	2021/11/21	徳島市立大松小学校（徳島県）	8	6
九州	2021/12/5	久留米市東部地区体育館（福岡県）	7	3
計			53名	21名

感染症拡大の影響を受け、9ブロック中7ブロックの実施となった。

11月・3月の全国大会派遣時には、移動人数制限に加え、専用マスクを着用してのジャッジ、直前のチーム数変動に伴う試合の変更等、普段とは異なる対応が必要となったが、積極的な協力を得ることができた。

審判員全体の人数に関しては、コロナ禍の影響が響いた2020年度時点では3600名まで減少していたが、2021年度は3900名台まで回復している。



3. 普及委員会

- 全国大会での普及事業

- 中学生チーム（第8回女子総合選手権時に実施）

特に2019年度以降の小学6年生は活動自粛のまま卒業を迎えていることから、関東ブロックの中学生チーム対象のミニ大会を実施した。対象は限られているものの、参加チームの反応から、学校部活動の外部委託の流れに対応も可能な受け皿となり得ることを確認した。

2022年度以降は独立した競技カテゴリーとしての発展を目指す。

- ドッジボール教室

2021年度に続き、広域での教室開催は難しい状況が続いたものの、外部団体からの依頼を元に教室事業を行った。

- コナミドッジボール教室

11月23日 サイクルショップコダマ大洲アリーナ（大分県大分市）

参加者 43名（午前）+18名（午後：経験者）

2020年～2021年のコロナ禍でも先方の依頼を受け開催しており、2022年度は地元九州ブロック普及部を中心に、2回開催で調整を進めている。



- Let's enjoy ドッジ

12月26日 五霞町B & G 体育館（茨城県猿島郡五霞町）

参加者 児童50名、保護者20名

子ども会の事業も中止が続いているとの情報から、2022年度の女子総合選手権（水戸市）時には、前日に県子ども会連合の大会の開催を計画している。



● 情報交換会

定例の委員会会議の他に、リモートの利便性を活用し、広くドッジボールを捉えることから普及のきっかけを見いだせるよう、任意参加の情報交換会を4回実施した。

企画力が不足していることは全国的な悩みであることを認識した上で、固定概念から離れ、多様な視点からドッジボールの役割・効果を考える機会とするよう、2022年度も継続する。

同時に、新たな取り組みとして、普及事業の組み立てから次世代の発掘・育成も視野に入れた、ドッジアドバイザー制度の構築に取り組む。

4. 指導委員会

J S P Oの指導者資格制度に沿って、全てのチーム指導者に対して、必要な資質を身につけるための講習会の実施と資格制度設計を進めている。

● B級公認指導員養成講習会

これまでは日本協会の主催で行っていたが、制度設計時の計画どおりほぼ全ブロックの初回開催が終了したため、ブロック主催の形式に全面的に移行した。全国的に開催されたが、やはり感染症の影響を受け下記の例外的な対応をとった。

- 開催形式 一部地域での、オンラインでの試験的な開催
- 講習会後の実習+レポート 活動ができない場合は、2022年度に提出を可能とする。
- 審判法（講習会①）の受講 講習会②の後に受講も可能

2022年度からは、全競技カテゴリーの予選と全国大会にて1名以上のB級指導員のベンチ入りが必要となる。感染症の影響に伴う延期も検討したが、感染症の拡大以前から進めていた点や、試合の有無に関わらず指導員として必要な資質と考え、予定どおり進めることとした。

● オンデマンド更新講習会

継続的な学習の機会として、B級・C級指導員を対象に、4年に1回以上の更新講習会の受講を必須としているが、感染症対策により地元での開催・受講が難しいとの声を受けたため、12月～1月にかけてオンラインでの映像配信により実施した。

レポート確認等の調整も必要のため、対象者は更新期限を迎える指導員の内、希望者としたが、通常時でも有効な実施方法であるため、2022年度は新たな受講用映像の作成を計画している。

● B級指導員養成講習会テキストの改訂

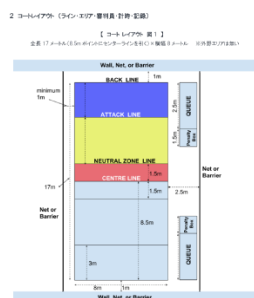
2020年度のC級指導員講習会テキストに続き、2021年度はB級指導員の単元の整備を進めていた。しかしながら、講習会自体の日程の延期と、それによる特例の議論等と並行した編集作業は困難なため、スケジュールを延期し、2022年6月の発刊を目指すこととした。

5. 国際委員会

感染症の拡大の影響を受け、2021年度も海外遠征・招待関連の事業は全て中止となった。

活動制限の中での対応として、シングルボール種目においては全国大会の国際団体への同時配信を行い、マルチボールにおいては国内向けにルールやゲーム運びの主要な部分をまとめたクイックガイドや国内審判員養成に向けた資料一式を取りまとめた。ようやく感染症対策緩和の動きがみられることから、これらの資料を元に2022年5月予定の体験会・講習会で実際に使用する。

他のスポーツと異なる背景を活かし、引き続き、文化の異なる両種目の相互推進を軸にドッジボールの国際的な発展につなげることとした。



- 覚えてもらおう！ Q&A —
- Q1. 審判員は試合中にどのような役割を担うのか？
 - Q2. 審判員は試合中にどのような服装を着るのか？
 - Q3. 審判員は試合中にどのような動作をするのか？
 - Q4. 審判員は試合中にどのような声かけをするのか？
 - Q5. 審判員は試合中にどのような判断をするのか？
 - Q6. 審判員は試合中にどのような注意をするのか？
 - Q7. 審判員は試合中にどのような記録を取るのか？
 - Q8. 審判員は試合中にどのような報告をするのか？
 - Q9. 審判員は試合中にどのような連絡をするのか？
 - Q10. 審判員は試合中にどのような対応をするのか？



6. 会議の開催状況

2020年度に続き、評議員会はいずれもオンライン上での開催とした。

理事会においても、約半数は年間を通じてオンライン出席となったが、2年目となったこともあり、個別の環境に応じて、無理のない対応も可能となった。

旅費宿泊費やその手続きの節減や柔軟なスケジュール調整は、これまで以上に利点となり得ることから、通常時の開催方法の一つとしても積極的に検討することとした。

①評議員会

会議名	開催日	主な審議事項
定時評議員会	2021/6/24	2020年度事業報告・収支決算の承認
臨時評議員会	2022/2/25	2022年度事業計画・収支予算の承認

②理事会

	日程	主な議題
第1回	2021/4/17	春小全国大会総括、暴力・違反行為通報窓口の設置 マルチボールガイド、ガバナンスコード
第2回	2021/6/19	2020年度事業報告・収支報告承認
第3回	2021/8/28	全国大会延期後の調整、感染症動向に伴う開催基準確認 審判員シューズ・マスク検証
第4回	2021/10/23	大会スポンサー情報検討 マルチボール国審審判員講習会用資料整備
第5回	2021/12/12	全国大会同時開催総括（全体・配信・中学生大会） 普及事業報告 春小・シニア同時開催時の対応協議
第6回	2022/2/19	2022年度全体事業／予算計画承認 第31回春小全国大会/2021JOB全日本選手権 運営方法整理 0-13ボール改定 普及計画とセールスシート整備 定款変更案

7. 他（委員会単位ではない事業／他団体への派遣事業等）

❖ 審判員用マスク（レフガード）の製作・販売

2020年度より製作・販売を開始した本商品は、本年度も主催事業での着用を必須とし、可能な限り感染症リスクを抑えることに努めた。

年度末には感染症状況もようやく改善に向かったことから、一旦製作を止め、2022年度は現在の在庫での対応を予定している。

❖ 広報紙作成・発行（総務・広報）

加盟協会内外に向けた広報紙を製作し、協会員・地方公共団体等へ発送した。



❖ セールスシート作成(総務・広報)

これまでは外部からの打診を待つて対応を検討していた、新規の協賛協力企業との関係に関して、より主体的に協会活動を示し、相互の関係性を提案できるよう、これまでの情報をまとめたセールスシートを作成した。



❖ スミセイアフタースクールプロジェクト (<http://sumiseiafterschool.jp/about/>)

(主催 住友生命相互保険相互会社・NPO法人放課後アフタースクール)

8年目を迎えた本プロジェクトであったが、最小となるオンライン1会場の実施となった。

当初は複数の打診があったものの、夏の長期休暇期間と感染症対策期間が重なった中では、学校の施設を使用した教室開催は困難なため、関係者も中止せざるを得なかったと思われる。

ただ、通常4~6会場で実施していることから、2022年度は回復を見込んでいる。

2021年12月24日	梅ヶ丘小学校区放課後児童クラブ (三重県名張市)	44名
-------------	--------------------------	-----



※写真はスミセイアフタープロジェクト活動ブログより転載。

第 13 期
計 算 書 類

2021年4月 1日から
2022年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

貸借対照表

2022年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	58,282,057	48,210,997	10,071,060
商品	2,723,312	1,936,873	786,439
前渡金	562,448	543,436	19,012
未収入金	5,740,683	7,726,263	△ 1,985,580
流動資産合計	67,308,500	58,417,569	8,890,931
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
工具器具備品	1	1	0
ソフトウェア	172,500	262,500	△ 90,000
保証金	414,000	414,000	0
その他固定資産合計	586,501	676,501	△ 90,000
固定資産合計	586,501	676,501	△ 90,000
資産合計	67,895,001	59,094,070	8,800,931
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,054,504	6,602,263	△ 1,547,759
前受金	963,000	973,000	△ 10,000
預り金	980,010	112,955	867,055
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税	580,600	438,600	142,000
流動負債合計	7,648,114	8,196,818	△ 548,704
負債合計	7,648,114	8,196,818	△ 548,704
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	60,246,887	50,897,252	9,349,635
正味財産合計	60,246,887	50,897,252	9,349,635
負債及び正味財産合計	67,895,001	59,094,070	8,800,931

損益計算書（正味財産増減計算書）

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
事業収益	8,594,822	5,468,007	3,126,815
登録料収益			
チーム登録料収益	3,726,000	3,786,000	△ 60,000
受取会費			
協会員受取会費	35,328,000	31,484,000	3,844,000
役員等受取会費	620,000	660,000	△ 40,000
加盟協会料収益			
加盟協会料収益	2,350,000	2,350,000	0
スポンサー料収益			
スポンサー料収益	4,285,000	4,572,500	△ 287,500
販売収益			
販売収益	13,607,421	6,054,115	7,553,306
検定料収益			
公認球検定料収益	1,768,800	1,895,520	△ 126,720
手数料収益			
手数料収益	1,156,309	700,206	456,103
受取補助金等			
受取助成金	5,403,000	5,043,000	360,000
雑収益			
雑収益	194,579	3,133,227	△ 2,938,648
経常収益計	77,033,931	65,146,575	11,887,356
(2) 経常費用			
事業費			
謝金	350,000	401,164	△ 51,164
旅費交通費	4,178,650	2,672,320	1,506,330
宿泊費	3,072,183	1,634,493	1,437,690
事業支援費	19,335,200	17,577,400	1,757,800
貸借リース料	683,450	656,145	27,305
制作費	4,937,510	3,623,302	1,314,208
用具費	1,111,365	788,080	323,285
通信運搬費	1,702,090	1,223,978	478,112
印刷製本費	4,054,761	1,569,526	2,485,235
事業消耗品費	7,345,509	3,480,840	3,864,669
事業雑費	590,111	694,914	△ 104,803
管理費			
給与手当	7,716,933	6,466,459	1,250,474
通勤費	379,740	399,520	△ 19,780
法定福利費	1,164,113	1,103,929	60,184
福利厚生費	65,920	66,200	△ 280
賃借料	3,722,242	3,627,350	94,892
リース料	250,800	253,748	△ 2,948
旅費交通費	753,744	640,830	112,914
通信費	760,518	671,915	88,603
運賃	1,036,473	676,614	359,859
消耗品費	236,085	599,149	△ 363,064
顧問料	720,000	720,000	0
業務委託費	424,600	413,050	11,550
会議費	81,289	42,616	38,673
接待交際費	229,400	215,085	14,315
水道光熱費	234,300	250,526	△ 16,226
諸会費	523,054	467,375	55,679
租税公課	1,018,650	857,600	161,050
支払助成金	489,659	0	489,659
減価償却費	90,000	90,000	0
雑費	355,947	348,495	7,452
経常費用計	67,614,296	52,232,623	15,381,673
当期経常増減額	9,419,635	12,913,952	△ 3,494,317
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	9,419,635	12,913,952	△ 3,494,317
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	9,349,635	12,843,952	△ 3,494,317
一般正味財産期首残高	50,897,252	38,053,300	12,843,952
一般正味財産期末残高	60,246,887	50,897,252	9,349,635
II 正味財産期末残高	60,246,887	50,897,252	9,349,635

財務諸表に対する注記（附属明細書）

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品……最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産……建物・建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法
無形固定資産……定額法
- (3) リース取引の処理方法
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式で計上している。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具器具備品	10,011,600	10,011,599	1
ソフトウェア	450,000	277,500	172,500
合 計	10,461,600	10,289,099	172,501

3. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	BS上の 記載区分
補助金・助成金						
2021年度ジュニア育成助成金	ミズノ財団	0	500,000	500,000	0	—
スポーツ普及奨励助成金	スポ安	0	450,000	450,000	0	—
加盟団体助成金	日レク	0	100,000	100,000	0	—
全国大会助成金	MDBA	0	1,500,000	1,500,000	0	—
金沢文化スポーツ事業誘致助成金	広島市	0	450,000	450,000	0	—
スポーツ振興基金助成金	スポーツ振興	0	2,403,000	2,403,000	0	—
合 計		0	5,403,000	5,403,000	0	

財産目録

2022年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目		金 額	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金手許有高		695,458	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店	833,970	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(賛助会員)	2	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(振興くじ)	100,471	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(JKA)	75,132	
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(ｽﾎﾟｰｽ振興)	1,118,509	
郵便振替	東京貯金事務センター(審判)	51,532,968	
郵便振替	東京貯金事務センター(積立金)	10,729	
郵便振替	東京貯金事務センター(サﾎﾟｰﾀｰ)	68,390	
郵便振替	東京貯金事務センター(祝賀会)	69,273	
郵便振替	東京貯金事務センター	3,777,155	
商品	ルールブック、テキスト、レフガード他	2,723,312	
前入金	2020年度WD A 宿泊費、事務局更新料	562,448	
未収入金	ｽﾎﾟｰｽ振興助成金他	5,740,683	
流動資産合計			67,308,500
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
工具器具備品	大会用コート	1	
ソフトウェア	システム開発費	172,500	
保証金	事務局	414,000	
その他固定資産合計		586,501	
固定資産合計			586,501
資産合計			67,895,001
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	事務局経費、春大会分他	5,054,504	
前受金	2022年度会費	963,000	
預り金	源泉税他	980,010	
未払法人税等		70,000	
未払消費税		580,600	
流動負債合計			7,648,114
負債合計			7,648,114
正味財産			60,246,887

貸借対照表総括表

2022年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(大会)	特別会計(toto)	合 計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	58,282,057	0	0	58,282,057
商品	2,723,312	0	0	2,723,312
前渡金	158,152	0	404,296	562,448
未収入金	2,148,966	3,591,717	0	5,740,683
流動資産合計	63,312,487	3,591,717	404,296	67,308,500
2. 固定資産				
(1) その他固定資産				
工具器具備品	0	1	0	1
ソフトウェア	172,500	0	0	172,500
保証金	414,000	0	0	414,000
その他固定資産合計	586,500	1	0	586,501
固定資産合計	586,500	1	0	586,501
資産合計	63,898,987	3,591,718	404,296	67,895,001
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	2,646,260	2,408,244	0	5,054,504
前受金	963,000	0	0	963,000
預り金	980,010	0	0	980,010
未払法人税等	70,000	0	0	70,000
未払消費税	580,600	0	0	580,600
元入金	△ 33,170,568	23,586,286	9,584,282	0
流動負債合計	△ 27,930,698	25,994,530	9,584,282	7,648,114
負債合計	△ 27,930,698	25,994,530	9,584,282	7,648,114
III 正味財産の部				
1. 一般正味財産	91,829,685	△ 22,402,812	△ 9,179,986	60,246,887
正味財産合計	91,829,685	△ 22,402,812	△ 9,179,986	60,246,887
負債及び正味財産合計	63,898,987	3,591,718	404,296	67,895,001

損益計算書（正味財産増減計算書）総括表

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(大会)	特別会計(toto)	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益				
事業収益	706,810	7,888,012	0	8,594,822
登録料収益				
チーム登録料収益	3,726,000	0	0	3,726,000
受取会費				
協会員受取会費	35,328,000	0	0	35,328,000
役員等受取会費	620,000	0	0	620,000
加盟協会料収益				
加盟協会料収益	2,350,000	0	0	2,350,000
スポンサー料収益				
スポンサー料収益	3,200,000	1,085,000	0	4,285,000
販売収益				
販売収益	10,296,671	3,310,750	0	13,607,421
検定料収益				
公認球検定料収益	1,768,800	0	0	1,768,800
手数料収益				
手数料収益	424,899	731,410	0	1,156,309
受取補助金等				
受取助成金	150,000	5,253,000	0	5,403,000
雑収益				
雑収益	189,063	5,516	0	194,579
経常収益計	58,760,243	18,273,688	0	77,033,931
(2) 経常費用				
事業費				
謝金	92,000	258,000	0	350,000
旅費交通費	511,870	3,666,780	0	4,178,650
宿泊費	126,620	2,945,563	0	3,072,183
事業支援費	19,335,200	0	0	19,335,200
賃借リース料	0	683,450	0	683,450
制作費	1,481,550	3,455,960	0	4,937,510
用具費	277,659	833,706	0	1,111,365
通信運搬費	6,999	1,695,091	0	1,702,090
印刷製本費	3,166,721	888,040	0	4,054,761
事業消耗品費	3,353,233	3,992,276	0	7,345,509
事業雑費	49,693	540,418	0	590,111
管理費				
給与手当	7,716,933	0	0	7,716,933
通勤費	379,740	0	0	379,740
法定福利費	1,164,113	0	0	1,164,113
福利厚生費	65,920	0	0	65,920
賃借料	3,722,242	0	0	3,722,242
リース料	250,800	0	0	250,800
旅費交通費	753,744	0	0	753,744
通信費	760,518	0	0	760,518
運賃	1,036,473	0	0	1,036,473
消耗品費	236,085	0	0	236,085
顧問料	720,000	0	0	720,000
業務委託費	424,600	0	0	424,600
会議費	81,289	0	0	81,289
接待交際費	229,400	0	0	229,400
水道光熱費	234,300	0	0	234,300
諸会費	523,054	0	0	523,054
租税公課	1,018,650	0	0	1,018,650
支払助成金	489,659	0	0	489,659
減価償却費	90,000	0	0	90,000
雑費	355,947	0	0	355,947
経常費用計	48,655,012	18,959,284	0	67,614,296
当期経常増減額	10,105,231	△ 685,596	0	9,419,635
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	10,105,231	△ 685,596	0	9,419,635
税引前当期一般正味財産増減額	10,105,231	△ 685,596	0	9,419,635
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	10,035,231	△ 685,596	0	9,349,635
一般正味財産期首残高	81,794,454	△ 21,717,216	△ 9,179,986	50,897,252
一般正味財産期末残高	91,829,685	△ 22,402,812	△ 9,179,986	60,246,887
II 正味財産期末残高	91,829,685	△ 22,402,812	△ 9,179,986	60,246,887

監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会
評議員・理事 各位

2022年 6月 11日
一般財団法人日本ドッジボール協会

監事 畑 敬 

私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2021年度（自2021年4月1日至2022年3月31日）の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

記

1 監査方法の概要

- ① 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- ② 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

2 監査意見


- ① 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2022年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- ② 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものと認める。
- ③ 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協定会定款に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上

監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会
評議員・理事 各位

2022年 6月 15日
一般財団法人日本ドッジボール協会

監事 山田 上 

私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2021年度（自2021年4月1日至2022年3月31日）の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

記

1 監査方法の概要

- ① 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- ② 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- ① 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2022年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- ② 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものとする。
- ③ 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協会の定款に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上